

2010年3月期 決算説明会資料

(株)島津製作所
代表取締役社長 中本晃

本説明資料に記載されている将来の業績に関する記述は、経済情勢・市場におけるテクノロジーの変化・為替変動などさまざまな変動要素によって、事前見直しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

【経営成績】



単位: 億円

	2010.3 期	2009.3 期	増減額	増減率
売上高	2383	2728	-345	-12.7%
営業利益	103	196	-93	-47.5%
経常利益	98	177	-79	-44.6%
純利益	61	85	-24	-28.2%

■EPS

2010.3期: ¥20.77, 2009.3期: ¥28.92

《期中平均為替レート》

■実績

当期[2009.4 - 2010.3]: \$1 = ¥93.53, €1 = ¥131.58

前期[2008.4 - 2009.3]: \$1 = ¥100.84, €1 = ¥145.93

■期初想定[2009.4]: \$1 = ¥95, €1 = ¥130

【利益増減解析】



単位:億円

項目	前期比増減額
売上総利益 減少	-179
売上高減少による影響	-133
採算率2.0%ポイント悪化による影響	-46
販売費・一般管理費 削減	+86
営業利益 減少	-93
営業外損益 改善	+14
経常利益 減少	-79

事業セグメント別【売上高】



単位:億円

	2010.3期	2009.3期	増減額	増減率
計測機器	1344	1524	-180	-11.8%
医用機器	505	511	-6	-1.1%
航空・産業機器	478	631	-153	-24.3%
その他	56	63	-7	-11.0%
合計	2383	2728	-345	-12.7%

事業セグメント別【営業利益】



単位:億円

	2010.3 期	2009.3 期	増減額	増減率
計測機器	170	212	-42	-19.6%
医用機器	13	12	+1	+7.7%
航空・産業機器	3	49	-46	-93.0%
その他	15	18	-3	-17.3%
消去又は全社	-98	-93	-5	—
合計	103	196	-93	-47.5%

事業セグメント別【売上高構成】<1>



単位:億円

計測機器

	2010.3 期	2009.3 期	増減額	増減率
汎用分析機器 ⇒ 医薬・食品・石油化学・ 紙/パルプなどでの R&D 及び品質管理	802	878	-76	-8.6%
★クロマトグラフ (LC, MS, GC)	590	651	-61	-9.3%
表面分析機器 ⇒ 半導体・電機などでの R&D 及び品質管理	99	111	-12	-10.8%
主要製品: 蛍光 X 線分析装置 (EDX)				
環境分析機器 ⇒ 水質・大気の監視	79	103	-24	-23.6%
主要製品: 全有機体炭素計 (TOC)				
試験機・非破壊検査機器 ⇒ 鉄/非鉄・機械・ 輸送機などでの R&D 及び品質管理	134	171	-37	-21.8%
主要製品: 材料試験機, X 線非破壊検査装置				
その他	230	260	-30	-11.6%
受託分析など子会社売上				
合計	1344	1524	-180	-11.8%

事業セグメント別【売上高構成】〈2〉



単位:億円

医用機器

	2010.3 期	2009.3 期	増減額	増減率
X 線撮影装置 主要製品:血管撮影, X線 TV, 一般撮影	423	417	+5	+1.3%
その他 主要製品:PET/CT, CT, 超音波診断装置	82	93	-11	-12.1%
合計	505	511	-6	-1.1%

事業セグメント別【売上高構成】〈3〉



単位:億円

航空・産業機器

	2010.3 期	2009.3 期	増減額	増減率
航空機器 主要製品:操縦系統機器, 空調機器 ヘッドアップディスプレイ	269	274	-5	-1.7%
産業機器 ★ターボ分子ポンプ, ソーラーセル 成膜装置, LCDアレイ検査装置 ★油圧機器	209	357	-148	-41.6%
	160	276	-116	-42.1%
	49	81	-32	-39.8%
合計	478	631	-153	-24.3%

地域別【売上高構成】



単位:億円

	2010.3 期	2009.3 期	増減額	増減率
日本	1468	1569	-101	-6.4%
海外	915	1160	-245	-21.1%
米州	216	276	-60	-21.8%
欧州	174	227	-53	-23.1%
アジア・オセアニア	524	657	-133	-20.2%
合計	2383	2728	-345	-12.7%

地域別【売上高構成】〈1〉



単位:億円

日本

	2010.3 期	2009.3 期	増減額	増減率
計測機器	754	816	-62	-7.6%
医用機器	274	258	+16	+6.2%
航空・産業機器	384	432	-48	-11.2%
その他	56	63	-7	-11.0%
合計	1468	1569	-101	-6.4%

地域別【売上高構成】〈2〉



単位:億円

米州

*カッコ内は米州のうち北米の売上高。

	2010.3期	2009.3期	増減額	増減率
計測機器	119(82)	145(107)	-26(-25)	-18.5%(-23.2%)
医用機器	67(45)	76(58)	-9(-13)	-11.2%(-22.2%)
航空・産業機器	30(30)	55(55)	-25(-25)	-45.2%(-45.9%)
合計	216(157)	276(220)	-60(-63)	-21.8%(-28.6%)

地域別【売上高構成】〈3〉



単位:億円

欧州

	2010.3期	2009.3期	増減額	増減率
計測機器	129	174	-45	-25.7%
医用機器	34	39	-5	-12.5%
航空・産業機器	11	13	-2	-19.9%
合計	174	227	-53	-23.1%

地域別【売上高構成】〈4〉



アジア・オセアニア

*カッコ内はアジア・オセアニアのうち中国の売上高。

単位:億円

	2010.3 期	2009.3 期	増減額	増減率
計測機器	342(198)	389(210)	-47(-12)	-12.0%(-6.7%)
医用機器	129(52)	137(51)	-8(+1)	-6.1%(+2.8%)
航空・産業機器	53(26)	131(73)	-78(-47)	-59.2%(-64.3%)
合計	524(276)	657(334)	-133(-58)	-20.2%(-17.5%)

【期末流動資産】



単位:億円

	2010.3 期末	2009.3 期末	増減額	増減率
売上債権	831	793	+38	+4.8%
手持ち月数	4.2ヶ月	3.5ヶ月	0.7ヶ月悪化	
たな卸資産	630	687	-57	-8.3%
手持ち月数	3.2ヶ月	3.0ヶ月	0.2ヶ月悪化	

【期末負債及び資本】



単位:億円

	2010.3 期末	2009.3 期末	増減額	増減率
短期借入金	147	125	+22	+17.0%
長期借入金	122	21	+101	5.8倍
社債	100	200	-100	-50%
有利子負債合計	368	346	+22	+6.4%

	2010.3 期末	2009.3 期末	増減額	増減率
自己資本	1529	1469	+60	+4.1%
総資本	2841	2812	+29	+1.0%
自己資本比率	53.8%	52.3%	1.5%改善	

【キャッシュフロー】



単位:億円

	2010.3 期	2009.3 期	増減額
営業キャッシュフロー	138	129	+9
投資キャッシュフロー	-77	-104	+27
フリーキャッシュフロー	61	25	+36
財務キャッシュフロー	-18	-118	+100

【2009年度事業ハイライト】〈1〉



計測機器

■補正予算需要, 計画通りに受注・売上が進捗

- 大学・研究機関での補正予算需要の取り込みは計画通りに進捗.
- 当期は年間で47億円の売上を達成.
- 最先端研究支援プログラムなどは2011.3期以降に売上を予定.
- 受注先のうち約40%は新規顧客.

■中国での拡大が持続

- 大型財政投資により景気は早期に回復, 食品安全・薬典改正向けなど順調に需要を取り込み.
- 当期中国でのクロマトグラフの売上高は, 現地通貨ベースで前期比21.2%と大幅に増加.



北京分析機器展に出品
(2010.11)

【2009年度事業ハイライト】〈2〉



医用機器

- 補正予算に関する年間売上は9億円を達成.
- 補正予算需要によるプラス効果もあり, 回診用X線撮影装置が過去最高の売上を達成.
- 中国「新医療制度改革」による内陸部の医療投資を取り込み, 中国での拡大を継続.
当期中国での医用機器売上高は, 現地通貨ベースで前期比+14%.
- 米国でのX線画像撮影装置の供給に関して, 3社の共同購買機構 (GPO: Group Purchasing Organization)と契約締結.



回診用X線撮影装置

航空・産業機器

- 航空機器: 当社機器 (操縦システムシステム等) が搭載された新型航空機2機種が初飛行に成功. 川崎重工業: 次期輸送機 XC-2 (初飛行2010.1.26), ボーイング: 最新型ジェンボジェット 747-8 (同2010.2.8).
- 産業機器: ターボ分子ポンプが半導体及び液晶製造装置向け等に下期急回復, 第4四半期は売上高26億円 (前年同期11億円) の過去最高水準に復帰.

【業績予想】



単位: 億円

	2011.3 期予想	2010.3 期	増減額	増減率
売上高	2500	2383	+117	+4.9%
営業利益	140	103	+37	+36.0%
経常利益	125	98	+27	+27.3%
純利益	80	61	+19	+30.5%

■EPS

2011.3期予想: ¥27.11, 2010.3期: ¥20.77

《期中平均為替レート》

■当期初想定[2010.4 - 2011.3]: \$ 1 = ¥ 90, € 1 = ¥ 125
 ■前期実績[2009.4 - 2010.3]: \$ 1 = ¥ 93.53, € 1 = ¥ 131.58

事業セグメント別【業績予想】<1>



単位: 億円

売上高

	2011.3 期予想	2010.3 期	増減額	増減率
計測機器	1410	1344	+66	+4.9%
医用機器	510	505	+5	+1.0%
航空・産業機器	525	478	+47	+9.8%
その他	55	56	-1	-1.2%
合計	2500	2383	+117	+4.9%



営業利益

単位:億円

	2011.3 期予想	2010.3 期	増減額	増減率
計測機器	193	170	+23	+13.4%
医用機器	14	13	+1	+11.2%
航空・産業機器	15	3	+12	4.4 倍
その他	15	15	0	+3.4%
消去又は全社	-97	-98	+1	—
合計	140	103	+37	+36.0%



〈基本方針〉

- 「景気回復の波を的確に捉え、いち早く成長軌道への回帰を目指す」
「前期の総コスト削減の成果を定着させ、強固な収益体質を構築する」

〈重点施策〉

■成長軌道への回帰

中国等の「新興国」また「グリーン」「ライフ」の新分野等、高い成長が期待される地域や分野での重点的展開を加速。

「新しい価値」「高付加価値」「高コストパフォーマンス」を追求した新製品開発の推進。

- ☞主力の汎用及び環境分析装置を中心に、2010年度より省電力化製品を順次発売予定。従来機種より25%以上の省電力化を実現したGCを2010年上期に発売予定、特に多数の装置を連続運転する顧客にアピール。

アフターマーケット事業の拡大。

■グローバル事業体制の強化

中国における開発・生産・販売/サービス体制の一層の強化。

■収益体質の更なる強化

前期実施した総コスト削減による低コスト構造の維持。



【2010年度重点施策】〈2〉



■計測機器

世界最高クラスの高付加価値新製品の投入

世界最高の高圧性能を実現した超高速液体クロマトグラフ(写真)に続いて、高付加価値製品を続けて投入。



新型超高速LC "Nexora"

新興国での拡大戦略

《中国》

2010年7月の薬典改正を控え、検査機関・製薬企業での汎用分析装置導入需要の取り込み強化。
 ボリュームゾーンでの現地ニーズを実現した製品の拡充。
 水源地、農産品、公安(警察)等で計画されている、新たな検査需要の積極的な対応推進。
 欧米大手製薬企業の中国展開に伴い急成長するライフサイエンスなどハイエンド分析装置の拡大。

《インド》

成長分野の製薬・環境・自動車等での設備投資需要の取り込み。

アフターマーケットでの事業拡大

保守契約締結の推進。
 マルチベンダーサービス(実験室の管理・運営を受託)の推進。
 消耗品・部品販売の拡充。



LC用カラム(消耗品)

【2010年度重点施策】〈3〉



■医用機器

・新工場稼動(京都三条工場内)を2010年6月に予定。内製化による生産の効率化、製品品質の

向上、及び物流の効率化によりコストダウンを推進。

・10年振りの診療報酬プラス改訂及びデジタル撮影料新設に伴う需要取り込みを強化。

・ボリュームゾーンに向けた中国現地化製品を開発。

■航空・産業機器

・ターボ分子ポンプの需要が急回復。2011.3期の売上は過去最高となる見込み。

・国内太陽電池セルメーカーの生産能力増強計画に伴い、反射防止用成膜装置(CVD)の拡販を推進。



ターボ分子ポンプ